

# 平成 28 年度 第 1 回五泉市総合計画審議会 議事要約

日 時：平成 28 年 12 月 13 日（火） 10：00～12：00  
場 所：福祉会館 3 階 大会議室  
出席者：市長、委員 26 名、飯平アドバイザー  
欠席者：金子義伸委員（1 名）

## 1. 開会（事務局）

第 1 回五泉市総合計画審議会を開会する。

## 2. 委嘱書の交付

市長より委員代表者に委嘱書を交付（各委員には委嘱書をあらかじめ配布）。

## 3. 市長あいさつ（全文）

日ごろ、皆様におかれましては、市政運営にご理解とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。また、この度はご多用の中、総合計画審議会委員を快くお引き受けいただき、感謝申し上げます。

皆様もご承知の通り、平成 18 年 1 月 1 日に合併し、早いもので 11 年目が過ぎようとしているところです。新しいまちづくりに向け、平成 19 年 9 月に第 1 次総合計画を策定し、将来の都市像である「人と自然が織りなす創造都市 五泉市」の実現に向けて取り組んで参りました。

第 1 次総合計画が今年度をもって終了することから、平成 29 年度から 10 年間のまちづくりの新たな指針となる「第 2 次総合計画」の策定を進めてきたところであります。

この度、原案のとりまとめが終了いたしましたので、皆さまからご審議をいただきたいと考えております。審議は本日から 1 月 26 日までに 5 回という短期間で集中してご審議いただくことになっています。年末年始のお忙しい中、皆さまにはご負担をおかけいたしますが、どうぞご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

第 2 次総合計画は、これからの 10 年間を見据えたまちづくりの方向性を決める大切な指針であります。今後とも皆様から専門的な、また市民を代表する立場から忌憚のない意見・ご提言を賜りますようお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

## 4. 自己紹介

審議会委員、アドバイザー及び事務局の自己紹介。

## 5. 審議会の組織及び運営に関する説明

事務局より、五泉市総合計画審議会条例に基づき、上記について説明。

## 6. 会長・副会長の互選

事務局の推薦と委員の賛同により、会長に樋口滋委員、副会長に伊藤能徳委員を選出することに決定。

- 樋口会長あいさつ
- 伊藤副会長あいさつ

[定数の確認]

委員の出席数について、委員 27 名中、26 名の出席を得ており、総合計画審議会条例第 6 条第 2 項により審議会は成立。

## 7. 第 2 次総合計画の諮問

市長より樋口会長へ、第 2 次総合計画基本構想及び前期基本計画案を諮問。

## 8. 議事

議事 (1) 第 2 次総合計画の策定について

議事 (2) 第 2 次総合計画の策定経過について

議事 (3) 目的・全 5 回の工程について

(事務局より上記議事について一括説明)

[質疑応答]

- 阿部良夫委員

年末年始で皆さんも忙しいと思う。会議の開催日程について、後日案内は出すのか。

- 事務局

今後は郵送での案内はしないので、本日、机上配付した 2 回目から 5 回目の開催案内を、改めてご確認いただきたい。

- 樋口滋会長

開催日程について、最後に事務局から口頭で確認していただきたい。

- 尾坂勝委員

今回初めての参加であり、資料も膨大であるため、これから勉強して次回に何か質問したいと思っている。

- 松尾幸一委員

日程の確認であるが、12 月 12 日と説明の際に言っていたようだが。

- 事務局

誤ってお伝えしたので訂正したい。配付した開催案内のとおりの日程である。

## 議事（4） 審議

### ①基本構想について

（事務局より上記議事について説明）

#### [質疑応答]

質疑なし。

#### ●飯平喜文アドバイザー（感想）

平成23年に自治法の改正があり、それまでは総合計画基本構想は策定義務があったが、今はなくなっている。しかし、決して計画がなくていいということではなく、きちんとした計画に基づいて実施することはまちづくりにとって大変効果的である。

### ②前期基本計画について

（事務局より、テーマ⑭：施策No.44～50について説明）

#### [意見]（テーマ⑭：施策No.44～50）

#### ●梅田恒栄委員

日本の中にこのような自治体がたくさんある。いつも思うのは、このように計画書として文章にすると、大変に総花的になってしまう。そうならざるを得ないところもあると思うが、その中でより五泉市を喜びのあるまちにするためには、より特徴を出していくことが大事である。

五泉市では子どもに対する行政のサポートが大変厚い。そのような行政がやっているものをどんどんPRして、PR上手にならなければいけないと思っている。我々もニットの街というPRを始めているが、五泉はまだ全国的に知名度はないまちだと思うので、行政、我々業界、市民が一体となって、五泉はいいまちであることをPRしてほしいと思う。

#### ●林聡明委員

基本計画について、「五つの泉」から計画をスタートしていると思うが、あまりにもそこにこだわり過ぎると、逆にぼやける部分が出てくるのではないかと感じている。

また、市民にとって便利な、具体的な例を言えば、市役所で発行する書類を市役所に来なくてもコンビニなどで発行できるような、五泉に住んで大変便利だと感じてもらえるようなまちになると良いと思っている。

#### ●松尾幸一委員

将来の五泉市を考えた場合、少子高齢化、特に少子に対する強烈的な対策が必要な気がしている。本当に真剣に考えていかないと、極端なことを言えば五泉市の消滅など、恐怖感を持っているので、それを皆さんで共有していければと思う。

#### ●豊島恭子委員

施策No.44「市民参加と協働による地域づくりの推進」に関して、「主体的に活動できる体制づくり」とあるが、実際にボランティアに関わっていると、年々関わる人たちが少なくなっている現状がある。この「市民参加意識の醸成」や「主体的な活動を持続できるような支援」などの言葉だけでなく、具体的な内容が見えるとありがたいと思った。

### ●尾坂勝委員

計画書には今後の取り組みがいろいろとあるが、「開設します」や「支援します」など言葉だけなので、具体的にどのようなことを市が考えているのか、どのように計画しているのかなど、中身が見えてくるとありがたい。

### ●事務局

基本計画の部分については、5年間の中で様々な状況の変化も想定されるので、具体的な事業については記載しないつもりとなっている。具体的な事業については、予算付けされた事業を実施計画という形でまとめていくという構成となっている。例えば、今ほど説明したテーマ⑭の各施策に関する具体的な事業については、資料No.9「政策別実施計画」の50ページから記載されている。施策No.45 人権に関する施策であれば人権啓発推進事業といったように予算付けがされて取り組んでいる。第2次総合計画もそのような形で取り組みを展開していきたいと考えている。

### ●飯平喜文アドバイザー

感想となるが、委員の皆さんからはもっともな意見がでたと思う。このような計画策定では、どうしても総花的になりがちであるが、行政はまんべんなく仕事をしなければならないので仕方ない部分もあるが、特徴を出す、PRが必要、少子高齢化の問題、市民協働の問題は大きなテーマだと思っている。

個人的な意見ではあるが、外部からすると五泉にはニットやサトイモ、花など、非常にいいものがたくさんある。市の中では広報が良くされているが、もう少し市の外に発信してもよいと思っている。

いずれにしても、皆さんから貴重な意見が出たので、これを計画に反映していただきたい。

## 9. その他

- ・次回のスケジュールについて

平成28年12月22日（木）午後2時から開催することを確認。

## 10. 閉会

以上